

宿泊者や家族連れらでにぎわう

## 飛雪の滝キャンプ場で「夏祭り」

飛雪の滝キャンプ場は7月24日、「夏祭り」を同キャンプ場で開催しました。

会場では、熊野水軍太鼓による和太鼓演奏が行われたほか、福岡の地魚にこだわった博多前鰯を提供している「鰯忠尾」の店主によるちらし寿司や御浜町のドーナツ店「NISCO」のチュロス、キャンプ場のかき氷、ピザが振舞われ、キャンプ場の宿泊者や地元住民がにぎわいを見せていました。

また、大阪市の南船場にあるヘアサロン「Rollen Gleis」のオーナーによるヘアカットも行われ、参加者は自然の中でのヘアカットを楽しんでいました。

Town topics  
7/24



01. ちらし寿司をもらう親子。02. ヘアカット体験をする参加者。



協定を締結した関係者のみなさん

Town topics  
7/28

災害支援や地域活性化を図るため

## 日本郵便と協定を締結

町と日本郵便株式会社は7月28日、役場で「包括連携に関する協定」を締結しました。

これは、地域での様々な課題への対応や地域サービスの向上、地域活性化を図ることを目的に締結したもので、①災害支援、②安全・安心な暮らしの実現、③地域経済の活性化、④未来を担う子どもの育成、⑤その他地域の活性化に関することが盛り込まれました。

締結にあたり日本郵便三重県南部地区連絡会統括局長で御浜神志山郵便局の平野局長は、「全国約2万ある郵便局は今後もそのネットワークを活かして住民のみなさまの安心安全の生活のために力を尽くしたい」と、西田町長は「町民が幸せに暮らせるまちにしていけるため、しっかりと連携していきたい」と話していました。

井田観音境内で披露される情緒豊かな踊り

## 伝統のほうき踊りを奉納

井田観音の境内で8月9日、納涼盆踊り大会を兼ねて井田観音祭りが行われ、ほうき踊りなどが奉納されました。

ほうき踊りは、水田に発生した害虫を防除するために「ぼうずり」という道具で洗い落とす動作が、いかにも柄の長いほうきで掃いている姿に見えたことから生まれたといわれています。また、平成27年には町の無形民俗文化財に指定されました。

参加した地域の住民や子どもたちは、やぐらを囲み、歌声に合わせて、ほうきを持ち上げたり、掃くしぐさを繰り返すなど、夜遅くまで踊りの輪が広がっていました。

Town topics  
8/9



老若男女がやぐらを取り囲み踊りを奉納

紀宝町サマースクールに248人が参加

## 主体的に学習に取り組む

町は、夏休み期間中の7月21日から8月24日までのうちの20日間、町内の小学生を対象に紀宝町サマースクールを開講しました。

これは、児童が自主的に学習に取り組むことにより学びに対する意欲の喚起と学力向上を図るというもので、今年は過去最多の小学生248人が登録し、町内の各小学校で実施しました。

訪れた鶴殿小学校では、小学生たちが、夏休みの宿題や自習用のドリルなどを机に広げ、わからないところは講師に教えてもらいながら真剣に学習に取り組んでいました。



Town topics  
7/21~24  
学習に取り組む小学生たち

明かりの歴史を学ぶ

## わくわく科学教室を開催

町は7月16日、ふれあい会館で第1回わくわく科学教室「あかりの科学～くらしとあかり～」を開催しました。

これは、さまざまな実験を通して科学の不思議さにふれ、親しみを持ってもらうことを目的に行われたもので、今回は明かりの歴史について学習しました。

参加者は、日本で明かりが広がった江戸時代には油を燃やして明るさを得ていて、主にナタネ油を使用していたという説明を受け、なぜナタネ油が普及したのかを解明するため、さまざまな油に火をつけ実験しました。

子どもたちはおそろおそろティッシュペーパーで作った灯心を油に浸し、火をつけ、煙やにおいの様子を観察し、煙やにおいのないナタネ油が最適だったことを確かめていました。



煙の様子を確認する参加者

Town topics  
7/16

第16回紀宝町花火大会を開催

## 約700発の花火が夜空を彩る

紀宝町花火大会実行委員会は8月15日、鶴殿港で第16回紀宝町花火大会を開催しました。

迫力のある花火を間近で楽しめる町の花火大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年、一昨年は花火の打ち上げが中止されました。

3年ぶりとなる今年はスターメインやメッセージ花火など合わせて約700発の花火が打ち上げられ、訪れた観客たちは、夜空に咲いた大輪の華に見とれていました。

Town topics  
8/15



夜空に打ち上げられた大迫力の花火